



みやぎ視能訓練士の会  
The Association of Miyagi Orthoptists



6月号の会報をお送りします。

～内容～

- ① < 訃報 > 渡辺春樹先生を偲んで P2
- ② 第3回宮城緑内障インストラクションセミナーに参加して P3

【今後の予定】

☆日本視能訓練士協会第30回定時会員総会・第33回講演会・第16回研修会

日時:平成29年6月11日(日)10:30～15:50

場所:日本消防会館(ニッショーホール) (東京都港区)

☆第73回日本弱視斜視学会総会・第42回日本小児眼科学会総会 合同学会

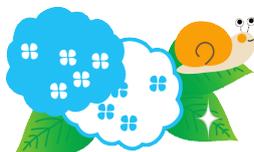
日時:平成29年6月16日(金)～17日(土)

場所:石川県立音楽堂 (石川県金沢市)

☆第32回JSCRS(日本白内障屈折矯正手術学会)学術総会

日時:平成29年6月23日(金)～25日(日)

場所:福岡国際会議場 (福岡県福岡市)



## 訃報

### 渡辺春樹先生を偲んで

東北文化学園専門学校

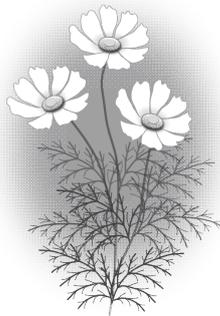
二本柳 淳子

5月17日、渡辺春樹先生が亡くなりました。東北大学医学部を卒業された後、アメリカで活躍され、帰国後は仙台市で開業され多くの患者さんの治療にあたられたのは、ご存知の方も多いと思います。

宮城の視能訓練士の育成の為に、精神面でも技術面でもとても支えになっていただいたとお聞きしています。私自身も東北大学で行われていた、研修医の先生方へのスキアの実技講習に混ぜていただいたこと、みやぎ視能訓練士の会の第1回の特別講演会の講師としてのお話などは忘れることが出来ません。誰にでも優しく質問に答えてくださった春樹先生。神経眼科の専門医であった春樹先生が、ALS（筋萎縮性側索硬化症）という難病に侵され、長い闘病生活を送られたのは皮肉としか思えません。

葬儀の際は、先生の山形弁のやや高いお声（白河の関を越えたぞ～。頑張れ～。）を思い出していました。春樹先生、本当に有難うございました。これからも東北の視能訓練士の頑張りを見守ってください。合掌。

（会より弔電を送らせていただきましたことをご報告申し上げます。）



## 第3回宮城緑内障インストラクションセミナーに参加して

仙台医療センター 日野 恵

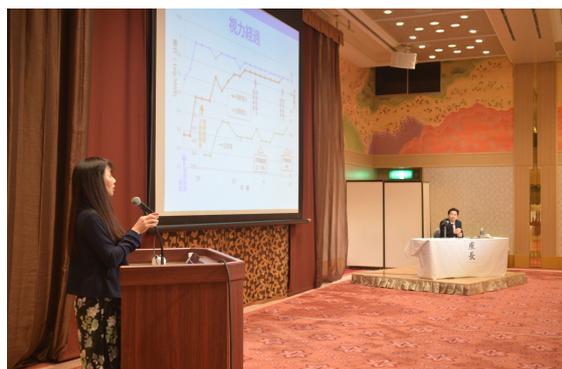
5月13日、第3回宮城緑内障インストラクションセミナーに参加しました。本セミナーには第1回から参加していますが、最先端の緑内障の研究を行っている東北大学病院の先生方のご講演は毎年とても勉強になり、緑内障について知識を深める貴重な機会になっています。特に今回は眼圧やOCT、視野などといった視能訓練士と関わりの深い検査についてもご講演いただきました。

- 患者さんの年齢や疾患など、様々な条件によってどの眼圧計を使用するか選択する(例:高眼圧の場合、ノンコンでの結果の精度は低い傾向にある等)
- 眼圧の日内変動において、平均眼圧、変動幅、最高眼圧が高いほど視野進行のリスクが高い
- 若年者のOCTの菲薄化は重症のサインであり、加齢によっても年 $0.3\mu\text{m}$ は菲薄化する
- 年 $2\mu\text{m}$ 菲薄化していると、視野も進行している可能性が高い

など、普段から意識して検査しなければならないお話ばかりでした。自分も診療の一端を担っているという自覚と責任を持ち、より信頼性のある検査結果を出していかなければと改めて身の引き締まる思いでした。

また、今回は当院視能訓練士の安達いづみさんによる弱視についてのお話もありました。

前半は弱視の種類別による基本的な治療法、後半は実際に当院に通院していた小児2名の症例(①不同視差12Dの眼鏡でも装用可能であった症例、②潜伏眼振があるため健眼遮閉ではなくオクルパッドを使用しての訓練を行なった症例)についてのお話でした。



小児でも眼鏡装用可能な不同視差は約5Dまでと記憶していましたが、実際にやってみると①の症例のように不同視差12Dでも装用でき、かつ視力も立体視も回復した、ということに驚きました。

私はあまり関わっていなかった症例だったので、カルテを見直して改めて視力や立体視の経過を確認したいです。



そして、例えばそのような不同視差のある眼鏡に慣れてきた子が将来コンタクトを作った場合に初めて不同視を自覚する可能性がある、と今後コンタクト合わせをする際に注意するポイントについても教えていただきました。

②の症例はアイパッチを始めた頃から、私も何度か検査をしたことが ある症例でした。

遮蔽は毎日1時間頑張っていたようですが、半年経っても視力は横ばいでした。そんな時にちょうど

当院でオクルパッドが導入され、訓練を始める事になりました。

潜伏眼振があるため、両眼開放下でできるオクルパッドでの訓練は本人にとっても負担が少なく、またゲーム感覚でできるので夢中で30分~1時間はできているそうです。その成果もあって視力は徐々に上がってきているようです。現在も通院されているので、これからも定期的に検査をしてさらに視力が上がることを期待しています。

最後になりましたが、貴重なお話をわかりやすくご講演いただいた7名の先生方に深く感謝申し上げます。



★☆☆会報に関してのお問い合わせは下記までご連絡下さい☆☆★

〒981-3627 宮城県黒川郡大和町吉岡東 2-8-10

かとう眼科医院 川上綾子・小谷里美

TEL 022-347-1682 FAX 022-347-1683

mail [koho@myg-ort.com](mailto:koho@myg-ort.com)

